

「制度の廃止を」 市民団体が訴え

青森

県内初の裁判員裁判
実施に合わせ、裁判員

制度に反対する市民団
体などが1日、青森地
裁前で抗議行動を行っ
た。同地裁を訪れた裁
判員候補者に対し、抽
選で選ばれた場合は拒
否するよう呼び掛けた
ほか、同制度廃止に向
けて署名活動を行っ
た。

抗議行動には、首都
圏や県内の市民団体関

係者、ブログで同制度
反対を訴えている人ら
が参加。参加者は昼こ
ろから同地裁前に集ま
り、のぼり旗を立てて
通行人にチラシを手渡
すなどし、同制度反対
を訴えた。

マイクを握った参加



裁判員制度廃止を求め、青森地裁前で
署名活動などを行う参加者

者は「国民の了解を得
ず、強制的に罰則を付
けて動員するやり方
は、戦争時代の赤紙に
よる召集と同じ」と訴
え、「裁判員候補者
は、裁判員に選ばれた
ら拒否してほしい」と
呼び掛けた。

東京都から参加した
無職金沢良昌さん(62)
は「裁判員制度は国民
の権利を踏みにじる制
度。廃止するしかな
い」と非難。同じく東
京から訪れた無職、柴
崎仁志さん(37)は「無
理やり人を裁かされた
ら、自分の人生が壊さ
れる」と怒りをあらわ
にした。

関係者は今年5月に
国会へ反対署名1万2
000人分を提出して
おり、今後も制度廃止
に向けて活動を行う方
針だ。